

ノーディスプレイ運動について

◎ 「ノーディスプレイ運動」については、一昨年度から、各ご家庭で取り組んでいただいておりますが、今年度も、家庭教育における大きな柱として、継続実施していきます。ご協力よろしくお願いいたします。年度当初にあたり、「ノーディスプレイ運動」について、再度確認したいと思います。



Q 「ノーディスプレイ運動」とは何ですか？

各ご家庭での子供たちのテレビ、ゲーム、パソコン、スマホ等の使用時間を減らしていこうという取り組みです。そのために、岩江地区の幼稚園、小学校、中学校は、「毎月、5のつく日」をノーディスプレイデーとして設定し、取り組んでいます。



Q どんな目的があるのですか？

最近の科学の発達により、テレビやゲーム、スマホが、いかに脳に悪影響を及ぼすかが、世界の研究者により、証明されてきています。そのため、テレビを見たり、ゲームをしたりして過ごす時間を少しでも減らすことが、第一の目的です。さらに、テレビやゲームから離れたためにできた時間を、子供たちと家族が心の交流をしたり、子供たちが静かに学習や読書に取り組んだりする時間に充てていこうということが第二の目的です。周りの大人が、子供たちの生活習慣の確立を助けることで、学力の向上も図っていきたいと考えています。ぜひ、おじいちゃん、おばあちゃんを含めて、家族全員の協力、そして、岩江地区全体での盛り上げをよろしくお願いいたします。

Q どんな効果があるのですか？

教育学の研究者、脳科学の研究者、あるいは、毎年行われている「全国学力・学習状況調査」等により、テレビやゲーム、スマホの使用時間が、学力に非常に関係があるということが分かってきています。100マス計算で有名な陰山英男先生が、「1日2時間以上のテレビ、ゲームで確実に学力が低下する。」と言っています。

1日2時間以上テレビ、ゲーム、スマホを使用していると、年間730時間、3時間では、年間1095時間くらいになります。実は、本校の1年間の全授業時間は、1年生で816時間、6年生でも945時間しかありません。それだけ、テレビやゲームの使用が、子供たちに大きな影響を与えているということなのです。さらに、本を読まない。寝ない。親子の会話がなくなることにもつながっています。テレビの見過ぎやゲームのやり過ぎ、スマホでのメール返答の締め付け等によって、生活習慣が崩れ、さらに学校の学習時間以上にそれらのことに時間を費やすことによって、学力面でも様々な影響が出てきます。



Q 具体的にどのようなことをしていくのですか？

- (1) 家族で、テレビ、ゲーム、スマホ等のディスプレイを見ない日を決めてください。前述のように、岩江地区では「5のつく日」となっていますが、親の仕事の関係や子供の習い事、おじいちゃん、おばあちゃんの事情によっては、曜日で決めた方がやりやすいという家庭もあるかと思います。それぞれの家庭に合った決め方で結構です。一番実施しやすいように決めてください。
- (2) 決まったら、後は実施あるのみです。この運動でできた時間を有効にご活用ください。